

従業員研修の実施状況に関するアンケート結果

東京商工会議所

【調査目的】 当所研修センターの研修講座を利用している企業から、コロナ禍での従業員研修の実施状況やオンライン研修に関する動向、課題を把握するため

【調査期間】 2020年8月17日（月）～27日（木）

【調査対象】 1,000社

※2019年4月1日～2020年1月31日に当所研修センター主催の研修講座に利用した企業より無作為に抽出

【回答数】 179件（回答率17.9%）

【回答方法】 メールによる調査回答先リンクの送付、WEBアンケートシステムでの回答

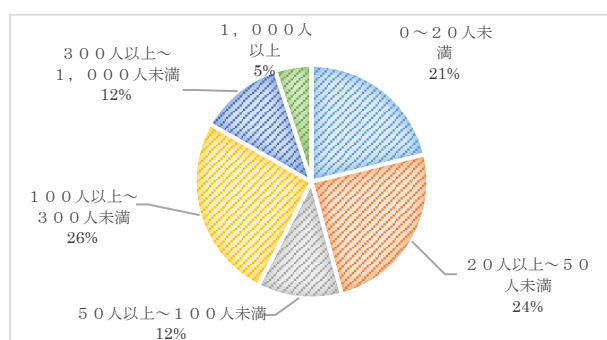
I. 回答企業の属性

■従業員規模

300人未満で約8割を占める。

「100～300人未満」（25.7%）、「20～50人未満」（24.6%）、「0～20人未満」（21.2%）と続く。

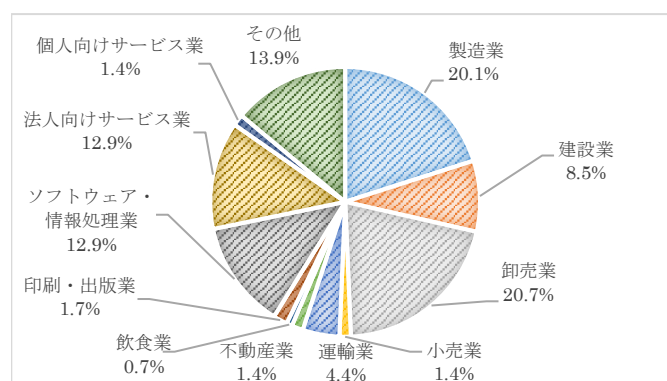
図1：従業員規模



■業種

「卸売業」「製造業」「ソフトウェア・情報処理業」など他業種にわたる。

図2：業種

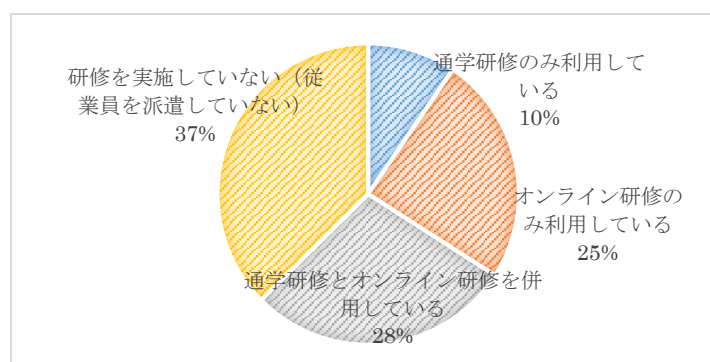


II. 調査結果

■コロナ禍の影響を踏まえた、現在の研修実施状況（従業員の派遣状況）

通学やオンラインでの研修を合わせて、6割以上の企業が人材育成のための研修を継続している。また、「オンライン研修のみ利用している」（24.6%）「通学研修とオンライン研修を併用している」（28.5%）をあわせて5割以上の企業がオンライン研修を活用しながら研修を実施している。講座を実施していない企業は、研修再開時期について7割弱が「特に決まっていない」と回答。

図3：現在の研修の実施状況



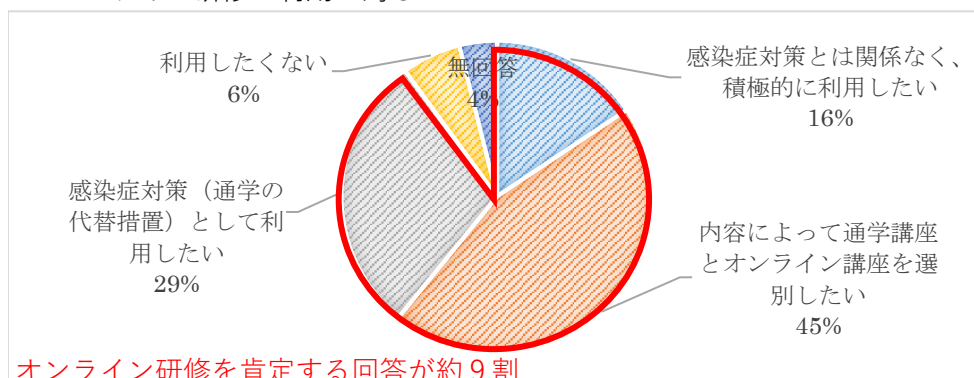
■オンライン研修の利用に対して

約9割の企業よりオンライン研修を肯定する回答があり、そのうち約6割の企業が積極的な利用や内容によって通学と選別するというように利用を前向きに考えている。

回答は「内容によって通学講座とオンライン講座を選別したい」(45.3%)、「感染症対策(通学の代替措置)として利用したい」(29.1%)、「感染症対策とは関係なく、積極的に利用したい」(15.6%)と続く。

「利用したくない」を選んだ中には、「設備や環境が整っていない」、「研修生同士の対面での研修が刺激になりうると考えるから」などの意見があった。

図4：オンライン研修の利用に対して



また、オンライン研修を利用している企業のうち、実施場所は「特に決まりはない」(52.5%)と最も多く、続いて「会社内で受講」(29.1%)となった。「社外(自宅等)で受講」は1割強となった。

なお、受講する際の端末に関しては、6割以上が「会社PCを利用」(62.6%)となった。

図5：オンライン研修の受講場所について

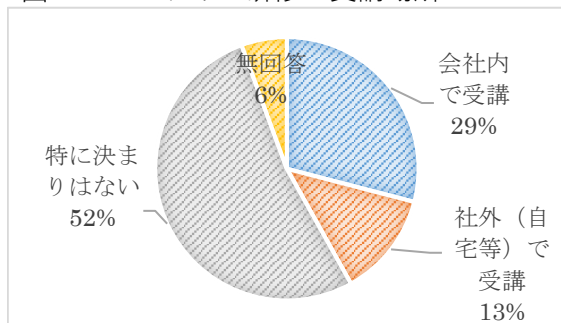
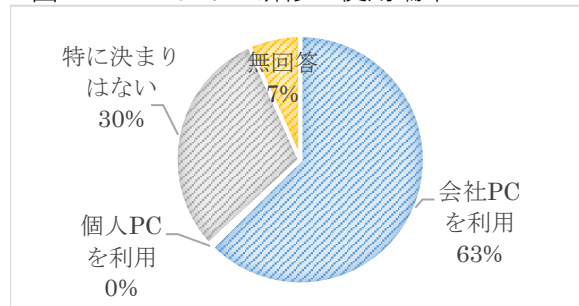


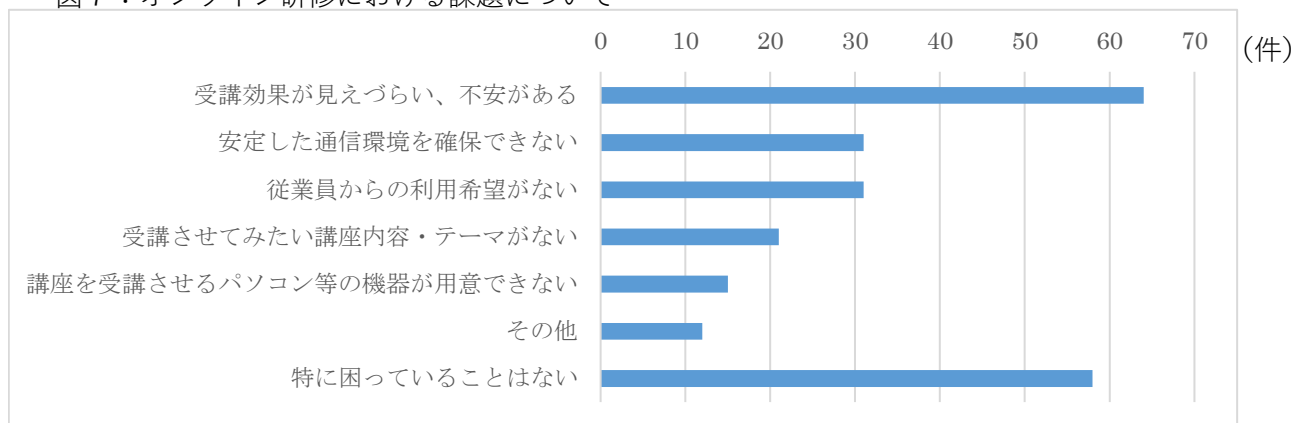
図6：オンライン研修の使用端末について



オンライン講座を利用するにあたり課題を聞いた。回答は、「特に困っていることはない」(58件)以外では「受講効果が見えづらい、不安がある」(64件)が最多となった。次いで「従業員からの利用希望がない」「安定した通信環境を確保できない」(各31件)となった。選択枝外の回答としては「社内での受講場所を確保できない」が多く、他には機器の不足などがあった。

図7：オンライン研修における課題について

※複数回答可



■次年度の研修計画に対して

次年度の研修計画について聞いたところ、現時点で「特に決まっていない」(56.4%)が最も多く、「年内に計画する予定」(19.6%)、「年明けに計画する予定」(16.2%)、「すでに計画している」(7.8%)となった。

また、講座形態は「特に決まっていない」(52.5%)が約半数ではあるものの、「通学講座とオンライン講座を併用」(30.2%)を予定している企業も多く、現段階では「通学講座を予定」(10.6%)、「オンライン講座を予定」(6.7%)としている企業もあった。

図8：次年度の研修計画(計画時期)

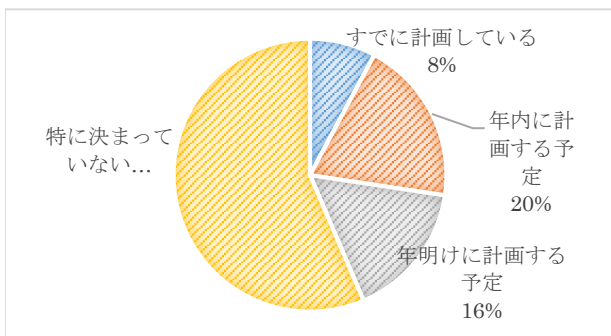
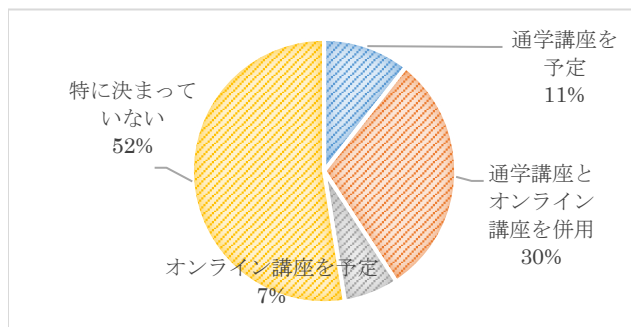


図9：次年度の研修計画(受講形態)



以上